

経営比較分析表（平成30年度決算）

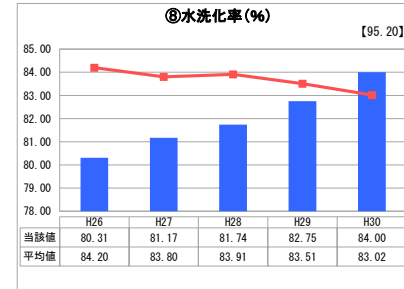
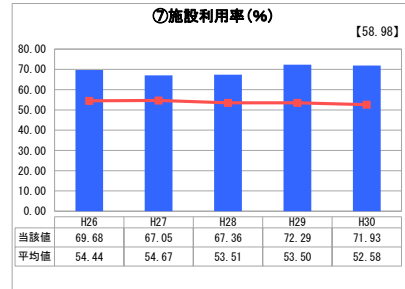
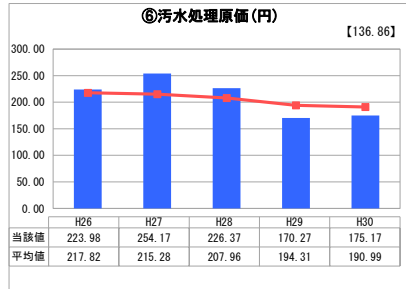
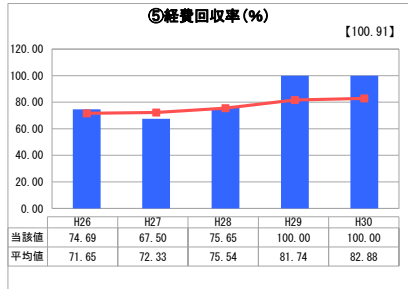
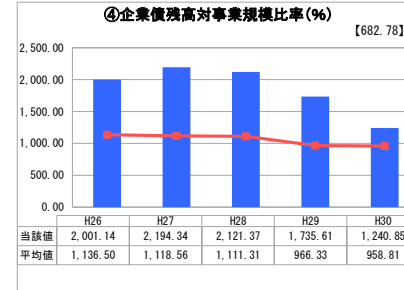
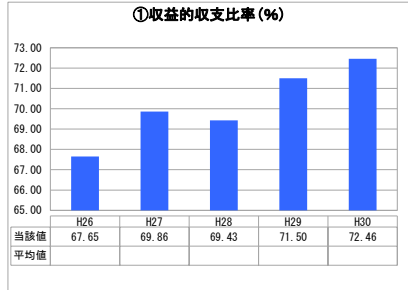
岐阜県 安八町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金 (円)
-	該当数値なし	100.00	88.21	3,240

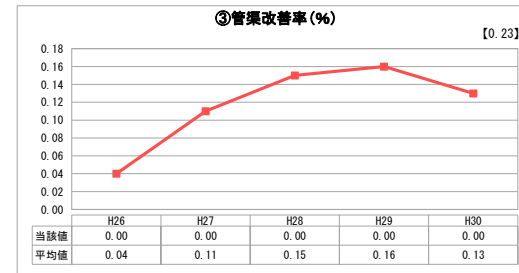
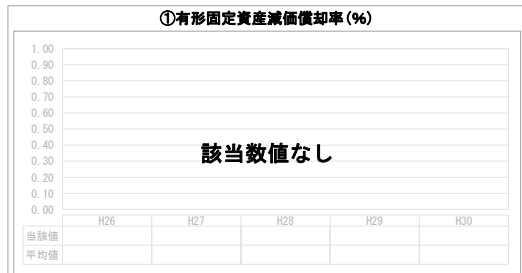
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
15,076	18.16	830.18
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
15,016	4.82	3,115.35

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営としては、収益的収支比率が100%に満たさず、企業債残高対事業規模比率も高水準であり、料金収入等だけでは維持管理費や企業債償還金を賄えず、一般会計からの多額の繰入れに依存せざるを得ない状況となっている。

この要因としては、下水道整備事業の規模からみると短期間（平成3年度から平成21年度の19年間）で整備し、財源は国庫補助金以外は大部分が企業債の借入れであったことにより、毎年の企業債償還金の元金及び利子の支出が多額となったことが考えられる。（令和4年度 償還額最大）

そのことによって、経営の状況に悪影響を及ぼしている。

よって経営状況の健全性を検証するため平成28年度に経営戦略の策定を行なった。

水洗化率については、順調に向上し平成30年度においては、類似団体平均値より上まった。

2. 老朽化の状況について

資産の現状としては、平成3年度から下水道事業に着手したことにより、管路については当面布設替えの必要性はないが、処理場については、整備工事の第1期建設から第3期建設の内、第1期建設分の電気・機械設備が耐用年数を超えていることから平成27年度長寿命化計画（計画期間：平成28年度から令和2年度）の策定を行い、平成28年度より事業着手した。また今後の老朽化対策として、社会資本費総合整備計画に従い令和3年度よりストックマネジメント計画を策定する予定である。

全体総括

平成28年度に策定した経営戦略の結果、経営において非常に厳しい状態であることが改めて示された。よって今後も投資の精査・平準化、その他経費の削減を図り、また収益となる使用料収入等の増加のため、水洗化率の向上（目標値：R7年度 87.4% 「岐阜県汚水処理施設整備構想より」）及び使用料収率向上（H30年度：現年度分収率 98.66%）を重点項目として、取り組んでいかなければならない。

また現経営戦略について、令和3年度より策定するストックマネジメント計画時に、見直しを図る予定である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。